



SAP Ariba 

# SAP Business Network(Ariba Network)で請求書を作成されている皆様へ

**2023年5月20日リリース予定** 事業者登録番号入力手順について

SAP

2023/5/8

CONFIDENTIAL

THE BEST RUN



# Agenda

1. **適格請求書等保存方式（インボイス制度）とは**
2. **機能リリース予定 ー適格請求書発行事業者登録番号の入力箇所ー**
3. **適格請求書発行事業者登録番号のご入力手順**
4. **現在、SAP Business Networkを自動処理連携（SI）されている場合のご対応について**

# インボイス制度とは

- **国税庁から公表されておりますとおり、2023年10月1日から適格請求書等保存方式（インボイス制度）が始まりまる予定です。**

適格請求書発行事業者（登録事業者）のみが適格請求書（インボイス）を交付することができます。

詳しくは国税庁ホームページをご参照ください。→[こちら](#)

※インボイス制度についてのご質問は国税庁へお問い合わせ下さい。→[こちら](#)

- **請求書画面の税算出のロジックがSAP Aribaによって改修されます。**

SAP Business Network（Ariba Network）では、これまで明細毎に税を算出しておりましたが、税率毎に算出されるようにシステム改修がされ、自動的に請求書に反映されます。この点について画面操作に変更はございません。

- **インボイス（適格請求書）を発行するためには、インボイス発行事業者の登録申請が必要です。**

登録は課税事業者（サプライヤー様）が受けることができます。

※登録方法は国税庁へご確認下さい。

※登録を受けるか否かは各社様にてご判断下さい。

- **インボイス（適格請求書）には事業者登録番号の表示が必要です。**

SAP Business Network（Ariba Network）に記載欄がございますので、入力方法を次ページからご説明します。

一度入力頂きますと、請求書作成時に都度入力して頂く必要はございませんが、ご請求書作成時に税IDを選択頂く必要があります。

現在、貴社で請求書を作成されていない場合でも、登録番号をご入力ください。

→次ページ

## 機能リリース予定 ー適格請求書発行事業者登録番号の入力箇所ー

- SAP Business Network リーガルプロフィール画面での事業者登録番号の入力箇所が、**2023年5月20日（土）**にリリースされる予定です。  
機能詳細を次ページよりご説明いたします。

実際にシステムに実装されるリリース時期は、**2023年5月20日（土）以降**です。

※実際に皆さまのアカウント画面に反映されますのは、2023年5月20日（土）以降ですので、現時点ではまだ反映されていません。

2023年5月20日（土）以降のご入力手順は、次ページをご参照下さい。

なお、この機能についてのお問い合わせは承っておりませんので、本機能について**お取引バイヤー企業様へお問い合わせされませんようお願い申し上げます。**

SAP Business Network（Ariba Network）リリース情報は下記からご確認頂けます。

<https://support.ariba.com/AribaSellerReadinessPortal>

> 日本向けのリーガルプロフィールの拡張 [NG-5876]

### 今後の弊社日本のSupplier Enablement (SE) チームからのご連絡【予定】

- ① 5/8（月）より順次 2305リリースについての事前補足メール送信
- ② 5/22（月） 機能が5/20（土）に一般リリースされた旨のご連絡を今回メールを差し上げた宛先へ再度メール送信
- ③ 9月頃 10月のインボイス制度実施前に今回メールを差し上げた宛先へご入力のリマインダーとして再度メールを送信

# 適格請求書発行事業者登録番号のご入力手順（1/5） 会社情報の設定

1. [SAP Business Network \(Ariba Network\)](#) にログインし、ホーム画面右上の丸いアイコンから「会社プロフィール」を選択します。  
※この機能は「アカウント管理者」、またはユーザー権限「会社情報」が付与されているユーザーのみ実施可能です。「アカウント管理者」情報は「管理者に連絡」で確認出来ます。
2. 「基本」タブに会社名、住所情報を入力します。  
※「\*」のついている項目は入力必須です。

続いて、画面を下にスクロールし、「製品およびサービスのカテゴリ、出荷先またはサービス提供地域、および業種」の設定を行います。  
→次ページ

※現在、貴社で請求書を作成されていない場合でも、登録番号をご入力ください。

また、お取引先バイヤー企業様においても、別途バイヤー企業様のシステムにて登録番号を設定しておく必要があるため、バイヤー企業様から登録番号を聞かれた際には、別途バイヤー企業へ登録番号をご提示ください。



基本 (3) | 会社詳細 (2) | マーケティング (3) | 連絡先 | 認定 (1) | 追加

\* 必須フィールドです。

概要

会社名:\* xxxxxxxxxxx株式会社

会社名 (半角英数字):\* xxxxxxxxxxx Co., Ltd.

別称 (存在する場合):

Ariba Network ID: AN( xxxxxxxx ) 809 ⓘ

簡単な説明: ⓘ  
残り文字数: 100

Web サイト:

公開プロフィール: http://d xxxxxxxx .09

プライバシーに関する声明: SAP Ariba のプライバシーに関する声明 ⓘ

住所

国/地域:\* 日本 [JPN] ▼

郵便番号:\* 100-0004

郵便番号 (半角英数字): 100-0004

都道府県/州:\* 東京都 [JP-13] ▼

市区町村:\* 千代田区

市区町村/都市 (半角英数字):\* Chiyoda

住所1:\* 大手町 1-1

住所1 (半角英数字):\* Otemachi 1-1

住所2:

住所2 (半角英数字):

住所3:

住所3 (半角英数字):

（半角英数字）と記載されている項目は、半角アルファベットか半角数字を入力して下さい。

住所 1 には、市区町村以下の住所と番地を入力して下さい。

## 適格請求書発行事業者登録番号の表記(2/5) SAP Business Network (Ariba Network) 上での表記箇所

3. 同じ画面にある「その他の会社住所」項目にある「作成」をクリックします。
4. 遷移した画面で「住所」項目にある「リーガルプロファイルのセットアップ」にチェックを入れます。※必ずここにチェックを入れて下さい。
5. 「税登録の種類」項目で「登録済み」を選択します。
6. 「登録番号」に**事業者登録番号（Tと13ケタの数字）**を入力します。
7. 同じ画面にある「保存」をクリックします。

自動的に「会社プロフィール」画面に戻ります。

→次ページ

その他の会社住所

住所名 ↑	住所 ID	付加価値税 (VAT) ID	税 ID	住所	国/地域	リーガルプロファイル状況
項目はありません						

3

作成

7

保存

閉じる

サプライヤ住所の設定

住所名:\* 株式会社 ⓘ

住所 ID:

付加価値税 (VAT) ID:

税 ID:

住所

日本  
1000001 東京都 千代田区  
千代田

4

リーガルプロファイルのセットアップ

各住所に対して追加の法人団体および課税情報を指定するには、このチェックボックスにチェックを付けます。ここに指定した情報は、Ariba Network から公認のサービスプロバイダへ送信される場合があります。[会社プロフィール] ページの [状況] で、貴社の登録情報が更新されていないが確認してください。

税登録情報

5

登録の種類:\* 登録済み ▾

6

登録番号: T1 11

# 適格請求書発行事業者登録番号の表記(3/5)

## SAP Business Network (Ariba Network) 上での表記箇所

画面が自動的に「会社プロフィール」画面に戻ります。

「その他の会社住所」にある「**リーガルプロフィール状況**」が「**受領済み**」となっていることをご確認下さい。

万が一なっていない場合は、該当の「住所名」左隣にあるボタンをクリックし、「編集」ボタンをクリックして下さい。

次の画面で、「**リーガルプロフィールのセットアップ**」に**チェック**を入れて「保存」をクリックして下さい。

続いて「製品およびサービスのカテゴリ」の設定をします。

→次ページ

会社プロフィール

基本 (3) 会社詳細 (2) マーケティング (3) 連絡先 認定 (1) 追加のドキュメント

\* 必須フィールドです。

概要

会社名:\*

別称 (存在する場合):

Ariba Network ID: AN211  ⓘ

簡単な説明:  ⓘ 残り文字数: 100

Web サイト:

公開プロフィール: <https://uri>

プライバシーに関する声明: SAP Ariba のプライバシーに関する声明 ⓘ

住所

日本  
100-0001 東京都

住所: CHIYODA

その他の会社住所

住所名 ↑	住所 ID	付加価値税 (VAT) ID	税 ID	住所	国/地域	リーガルプロフィール状況**
Ja <input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	CHIYODA <input type="text"/>	日本 東京都	受領済み

編集 削除 作成

# 適格請求書発行事業者登録番号のご入力手順（4/5） 「製品およびサービスのカテゴリ」の設定

- 8. 「会社プロフィール」画面にある「製品およびサービスのカテゴリ」項目の「参照」をクリックします。
  - 9. 「参照」タブで、一番左の枠から貴社の製品やサービスに近いものを選択します。
  - 10. 右隣の枠に大分類→中分類→小分類と表示されるので、大分類で一つ選択します。
  - 11. 中分類で一つ選択します。
  - 12. 近いものに「+」マークをクリック ※「+」マークが表示された時点で選択すると、中分類/小分類まで進まなくても選択できます。
  - 13. 「現在の選択内容」に表示されたものにチェックを入れます。
  - 14. 「OK」をクリックします。
- 続いて「出荷先またはサービス提供地域」の設定します。

→次ページ

製品およびサービスのカテゴリ、出荷先またはサービス提供地域、および業種

製品およびサービスのカテゴリ\*

貴社が提供している製品およびサービスを入力してください。ここで入力した製品およびサービスのカテゴリを登録したイベントが掲載イベントと貴社との自動マッチングが行われます。

製品またはサービスのカテゴリを入力  -または-

製品およびサービスのカテゴリの選択

検索

9 製品およびサービスのカテゴリをクリックし、+マークをクリックして、製品およびサービスのカテゴリを選択します。製品およびサービスのカテゴリをクリックすると、その下位レベルの製品およびサービスが表示されます。[OK]をクリックすると、選択内容が保存されます。

10 製品およびサービスのカテゴリの参照   がない場合は...

11 大分類

12 中分類

13 現在の選択内容 (1)

コンピュータ (表示)

14



## 適格請求書発行事業者登録番号のご入力手順（5/5）

### 「出荷先またはサービス提供地域」の設定

15. 「出荷先またはサービス提供地域」で、「参照」をクリックします。
16. 日本の場合は、一番左の枠から「東アジア」を選択します。
17. 「日本」の横にある「+」を選択します。
18. 「OK」をクリックします。
19. 会社プロフィール画面に戻りますので、「保存」をクリックします。
20. 「プロフィールが更新されました。」という緑色の帯が画面上部に表示されたら、「×」で閉じます。

以上で事業者登録番号の入力は完了です。

The screenshot shows the '出荷先またはサービス提供地域\*' (Shipping or Service Area\*) selection interface. It includes a search box, a '追加' (Add) button, and a '参照' (Reference) button. Below is a selection area with radio buttons for 'グローバル' (Global) and '出荷先またはサービス提供地域を選択' (Select shipping or service area). A list of regions is shown, with '東アジア' (East Asia) selected in the first column and '日本' (Japan) selected in the second column. A '現在選択内容 (1)' (Current selection (1)) section shows '日本' (Japan) with a '削除' (Delete) button. At the bottom, there are 'キャンセル' (Cancel) and 'OK' buttons, and a '会社プロフィール' (Company Profile) section with '保存' (Save) and '閉じる' (Close) buttons. A green notification bar at the bottom states 'プロフィールが更新されました。' (Profile updated.) with a close button '×'.

15. 「参照」をクリックします。

16. 「東アジア」を選択します。

17. 「日本」の横にある「+」を選択します。

18. 「OK」をクリックします。

19. 「保存」をクリックします。

20. 「プロフィールが更新されました。」という緑色の帯が画面上部に表示されたら、「×」で閉じます。

# 請求書画面

この資料の「**リーガルプロフィールのセットアップ**」が完了した後は、請求書を作成するたびに事業者登録番号を入力する必要はありません。

請求書画面のヘッダー部分にある「**顧客付加価値税 (VAT) / 税ID**」欄に事業者登録番号が表示されます。

万が一表示されていない場合は、この資料の[ご入力手順 \(1/4\)](#)から再度ご確認をお願い致します。

SAP Business Network

請求書の作成

▼ 請求書ヘッダー

追加フィールド

参照用のため顧客によるアクションは不要

サプライヤアカウント ID:

顧客参照用番号:

サプライヤ参照用番号:

分割支払番号:

Jap

サプライヤ: Jap

日本  
東京都 CHIYODA KU

請求元: Jap

日本  
東京都 CHIYODA KU

顧客付加価値税 (VAT)

顧客付加価値税 (VAT)/税 ID:

**現在、既にSAP Business Networkを自動処理連携（SI）を実装されている場合のご対応について**  
**※現在、アカウントにログインしてブラウザー上で請求書を作成している方は、SI実装していませんので対象外です。**

- **SI（Seller Integration=自動処理連携）とは**

ユーザーがSAP Business Network（Ariba Network）上にログインして注文書の確認、請求書の作成を手作業で実施する代わりに、各サプライヤー様でお使いの基幹システムとSAP Business Networkアカウントをシステム連携することで、ドキュメント登録/更新を電子的に（cXML/EDI/CSV）処理することです。自動処理連携（SI）を行うには、各サプライヤー様による開発が必要です。現在、貴社がSIを実施されているか否かについては、各社様にてご確認下さい。

- **インボイス制度対応のため、この事業者登録番号の追加（5月リリース）の他に、別途、請求書における税計算ロジック改修（8月リリース予定）による貴社システム連携の修正が必要になります。**

SAP Business Networkに、『請求書ごと、且つ税率ごとに税金データをまとめた形』のcXMLデータを渡せるよう、貴社システムでの税計算ロジックの修正が必要となります。

具体的には、国税庁の指示に従い、請求書内の金額を全て合算してから税率を乗じるようにご修正頂く必要がございます。

SAP Business Network側の計算ロジック改修詳細は[リリース情報](#)に掲載される予定ですので、**2023年8月以降**にご確認頂きますようお願い申し上げます。

リリース情報：<https://support.ariba.com/AribaSellerReadinessPortal>

※プログラム修正は各サプライヤー様にてご対応頂く必要があります。

※実装タイミングにつきましてはバイヤー企業様とご確認下さい。

- **バイヤー企業様とテストを実施されたい場合は、バイヤー企業様と事前にご調整下さい。実施可能となるタイミングは今年8月下旬以降となります。**

# Thank you.

Contact information:

